

## 熊谷市熊谷駅籠原駅基本構想の概要

### 1 経 緯

平成 14 年 3 月 29 日作成

平成 14 年 4 月 30 日公表

### 2 熊谷市の概要

|        |   |                             |
|--------|---|-----------------------------|
| 人 口    | : | 1 5 8 , 0 5 4 人             |
| 世帯数    | : | 5 8 , 8 1 8 世帯              |
| 面 積    | : | 8 , 5 1 8 h a               |
| 高齢者数   | : | 2 5 , 0 7 9 人 ( 1 5 . 9 % ) |
| 身体障害者数 | : | 4 , 5 4 0 人 ( 2 . 9 % )     |

### 3 旅客施設及び重点整備地区の概要

#### 【熊谷駅周辺地区】

J R 高崎線熊谷駅 ( 1 日平均利用者数 : 6 2 , 1 8 2 人 )

秩父鉄道熊谷駅 ( 1 日平均利用者数 : 8 , 9 7 0 人 )

重点整備地区の面積 : 1 3 6 h a

主な施設 : 市役所、熊谷会館、熊谷郵便局、市立文化センター、熊谷盲学校、  
障害福祉会館、コミュニティセンター

重点整備地区の選定理由

- ・ 熊谷市の地形の特性及び主要施設の集積状況から、J R 高崎線以北については駅から 1 k m 圏を、J R 高崎線以南については同 0 . 5 k m 圏を基本とする。
- ・ 平成 12 年に策定されている「熊谷市中心市街地活性化基本計画」の活性化エリアと整合を図る。

#### 【籠原駅周辺地区】

J R 高崎線籠原駅 ( 1 日平均利用者数 : 2 7 , 0 5 8 人 )

重点整備地区の面積 : 1 0 0 h a

主な施設 : 熊谷文化創造館さくらめいと、籠原駅前郵便局

重点整備地区の選定理由

- ・ 駅の南北地区において、それぞれ区画整理事業が施工中であることから、事業区域を基本とする。

#### 4 熊谷市基本構想の特徴

##### 整備目標の明確化

- ・ 本市は、平成 16 年に開催される「国民体育大会」及び「障害者スポーツ大会」のメイン会場に決定していることから、特に熊谷駅周辺地区の主要な事業については、開催年次の平成 16 年までとする短期計画、それ以外の事業については、平成 17 年から平成 22 年までの中期計画と、整備目標を明確にした。

##### バリアフリーシンボルマークの選定

- ・ 「心のバリアフリー」を広めるための取り組みの一つとして、バリアフリーシンボルマークのデザインを市の内外を問わず広く公募した。
- ・ このシンボルマークはバリアフリー化の整備を実施した箇所等に設置し、高齢者や障害者等には安心して通行できる目印として、健常者にはバリアフリーを呼びかける目印として利用したいと考えた。



- ・ このシンボルマークは、福岡県の男性が応募されたものです。

『市民の皆様からの視点を考えると、どの施設がバリアフリー化されているかを把握する上で、全国統一のデザインがわかりやすいと思われます。全国的な普及が考えられないでしょうか』

##### 準特定経路の設定

- ・ 特定経路の基準（歩道の有効幅員 2 m 以上）に満たない道路で、特に主要施設へのアクセスの利便性から重要な路線と考えられる道路について、準特定経路と位置づける。
- ・ 準特定経路の整備については、今後、地元と調整を図りながらコミュニティゾーンの導入や歩行上の支障物件の移動等、ハード、ソフト両面で対応を検討する。

##### バリアフリー化の進捗状況の確認

- ・ 各特定事業の透明性の確保や早期のバリアフリー化の達成に向け、事業の進捗状況を確認するため定期的な（3 年程度毎）バリアフリー再点検を実施する。

## 5 事業の概要

基本構想の目標年次：２０１０年（平成２２年）

### 公共交通特定事業

- ・ 駅舎内の視覚障害者誘導用ブロック、案内表示の改善及び販売機器設置部分の改修
- ・ ＪＲ熊谷駅各ホームへのエレベーターの設置
- ・ 熊谷駅の障害者用トイレの改修（多機能化）
- ・ 低床型バス導入の推進
- ・ 職員研修の充実化

### 道路特定事業

- ・ 歩道について、十分な幅員の確保、段差や勾配の改善による歩行空間ネットワークの形成
- ・ 見やすくわかりやすい案内標識・表示設置の検討

### 交通安全特定事業

- ・ 信号機の新設及び改良（音響機能、青時間延長、待ち時間表示機能等の付加）
- ・ 見やすくわかりやすい標識・標示の整備
- ・ 特定経路を重点的に違法駐車に対する警告・指導取締りの強化

### その他の事業

- ・ 熊谷駅東地区市街地再開発事業により整備される駅前広場、通路等の高度なバリアフリー化
- ・ 「心のバリアフリー」啓発の参考となるパンフレットの作成
- ・ 違法駐車防止条例の制定

## 6 利用者の意見の反映

基本構想策定協議会に以下の団体からメンバーが参画し、3回にわたって協議会で議論を行った。また、14回にわたって開催した作業部会のうち、計3回を意見交換会の場として開催した。

- ・ 熊谷市身体障害者福祉会
- ・ 熊谷市盲人福祉協会
- ・ 自立生活センター「遊TOピア」
- ・ 熊谷市ろう者協会

基本構想策定協議会に参加していない「熊谷盲学校」からもヒアリングを実施した。

### バリアフリー点検の実施

#### 【熊谷駅周辺地区】

- ・ 平成13年11月2日に総勢125名により実施

#### 【籠原駅周辺地区】

- ・ 平成13年11月15日に総勢24名により実施

### アンケート調査の実施

- ・ 「熊谷市交通バリアフリー基本構想に関するアンケート調査」を、バリアフリー点検の参加者と市政モニターを対象として実施し、118名の回答を得た。
- ・ 熊谷駅周辺地区の主要交差点である筑波交差点について、「具体的な市民の望む整備方策」について利用者や周辺自治会を対象として実施し、440名の回答を得た。

### 反映された主な事項

- ・ 視覚障害者の「誘導ブロックの敷設方法の複雑さ」という指摘を踏まえ、マンホール周辺等の設置基準を盛り込んだ。
- ・ 多くの障害者からの「ハード施策と同時にソフト施策の充実」という意見を受け、小中学生に対する「心のバリアフリー」教育の一環として、啓発用パンフレット「やさしい熊谷つくりたい」を作成した。
- ・ 車椅子利用者、視覚障害者の「放置自転車の対策」という要望を受け、商店街にもパンフレットを配布し「心のバリアフリー」を呼びかけることとした。

## 7 法第6条第4項に定められている関係する機関との協議

### 公共交通事業者

- ・ 東日本旅客鉄道株式会社高崎支社企画部
- ・ 秩父鉄道株式会社鉄道部
- ・ 国際ハイヤー株式会社
- ・ 朝日自動車株式会社太田営業所

### 道路管理者

- ・ 国土交通省関東地方整備局大宮国道工事事務所
- ・ 埼玉県県土整備部道路環境課
- ・ 埼玉県熊谷土木事務所
- ・ 熊谷市建設部

### 埼玉県公安委員会

- ・ 埼玉県警察本部交通部交通規制課
- ・ 埼玉県警察本部交通部駐車対策課
- ・ 埼玉県熊谷警察署

### 協議方法

- ・ 策定協議会3回、作業部会14回を中心に、補足として個別協議を実施

## 8 その他

### 歩車道段差の検討

- ・ 車椅子利用者の「国の定める基準の2cmではきつい」という意見を受け、横断歩道部の縁石に幅10cm程度の溝を試験的に設置した。

### 自転車走行スペースの検討

- ・ 歩道を走行する自転車が歩行者にとって危険な存在（障害）になっていることから自転車走行スペースの確保について検討した。
- ・ 熊谷駅を中心に34箇所で、自転車・歩行者交通量調査を実施した。

### 点字版報告書の作成

- ・ 視覚障害者の方にも、熊谷市交通バリアフリー基本構想の内容を広く把握していただくことを目的として、点字版の報告書を作成した。

**連絡先：熊谷市都市整備部都市計画課**

**Tel 048-524-1111**

**Fax 048-525-9051**